

私と日赤病院

病は突然に！ 北見市 S・T会員

平日頃、健康維持のため「フィットネスクラブ」に週三回通い、健康に留意し元気に過ごしておりました。

平成十八年十二月二日の出来事でした。

その日も、午前中「フィットネスクラブ」に行き十二時すぎ、自宅で昼食を摂っている最中、ふと立ち上がり、汗を拭き、その場にふらふらと倒れたそうです。顔色も青ざめ、意識もない感じで、妻は驚いてすぐ救急車をお願いしたそうです。救急車は二十分ぐらいで来てくれたようです。

土曜日の午後一時すぎに、北見赤十字病院救急外来に運ばれました。

診察の結果、血便による貧血状態で、専門医により「内視鏡検査」と同時に「内視鏡的上部消化管出血止血術」

も受けました。「出血性胃潰瘍」との診断を受け、輸血、点滴を受け禁食となり、安静状態で南館七階の救命救急棟に入院となりました。気がついてみるとベッドの上だけの生活となり、たまたま男性の看護師さんで良く気がつき、親切なかたでお世話になりました。

1、2日は同室の患者さんが美味しそうに食事をしているのが羨ましかったです。健康の大切さが身にしみました。重湯から三分がゆ、五分がゆと食べられるようになった時は本当にうれしかったです。1週間ぐらい過ぎると、一般病棟(北館2階)に移りました。

周囲の患者さんも、いろいろの病状の方がたくさんいることがわかりました。

地域医療の有り難さを思わずにはいられません。

十二日治療により退院となり、その後通院となりました。その折、ピロリ菌の話もあり主治医との相談の結果、薬を一日二回一週間飲み続けその後検査の結果「理論的にはピロリ菌は無し」とのことでした。それから今日まで元気に過ごしております。

北見赤十字病院の救命救急処置のおかげと感謝しています。

私の健康上の体験から、北見赤十字病院の地域医療の大切さと、その仕事に係わる多くの医師と、職員の皆様

に感謝と、敬意を払う次第です。

知っていますか？

日本赤十字社

人間の生命は尊重されなければならないし、苦しんでいる者は、敵味方の別なく救わなければならない「人道こそ基本」



- 7つの原則
 - ① 人道
 - ② 公平
 - ③ 中立
 - ④ 独立
 - ⑤ 奉仕
 - ⑥ 単一
 - ⑦ 世界性
- これらの原則に基づき事業を勧める
- 財源 (社員制度)
 - 赤十字の理念や活動に賛同し、一年に500円以上の社費(寄付)を納めた赤十字社員で組織されている。社員の代表で構成する代議員会が最高決定機関である。
- 事業・活動
 - ① 国内災害救護と国際活動
 - ② 赤十字病院
 - ③ 看護師等の教育
 - ④ 血液事業

- ⑤ 救護法等の講習
- ⑥ 青少年赤十字
- ⑦ 社会福祉
- 活動はそれぞれ独立

世界186カ国にある赤十字社のひとつ。日本赤十字法1952年設立。政府から独立した民間組織。北見日赤は北海道支部に属している。

教えてください！
Q 社員の募集になぜ町内会の人がかかるのですか？

A 日本赤十字社は地域福祉やボランティア活動など、地域に根ざした活動により災害発生時など住民の方々と協力し救護活動を展開しています

す。自治会・町内会の方々には、社員募集へのご協力をお願いしている場合があります。

Q この会のお金は北見日赤病院に入るのですか？

A 社費は日本赤十字社の北海道支部に入金されます。

北見日赤病院には入りません。

Q ハイチ地震に募金したのですが？

A 募金はハイチ地震にと指定するとハイチに、チリ地震と指定すると必ずその被災地に送られます。

編集後記

自分達の経験や勉強した事を会報で報告しようとして、動きだしたばかりの時突然入院、代表を初め会員の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。特に逢坂さんには会報の発行を

引き受けていただき、お世話になりました。本当に感謝です。

お医者さまや看護師さん、リハビリの先生の手厚い看護のお陰で体調もどおり、五月から元気で日赤の応援団に復帰しました。

(阿久津記)